

緊急保全工事成果報告（令和５年度）

町指定文化財「旧合田家住宅（島屋）」（以下「合田邸」という）は、経年劣化や蟻害による建物の傷みが様々な場所に見られる状態です。このため、企業版ふるさと納税等を原資とした基金をもとにして令和５年１１月２０日から令和６年３月３１日まで旧合田家住宅の保全工事を実施しました。工事内容は以下の５事業になります。

①主屋棟の食堂、和室及び仏間のいくつかの梁に、支えとなる支持材の設置（写真１）

実施期間：１１月～１２月

主屋の食堂や和室の天井裏は先行する調査などで、雨水や蟻害による桁梁材の劣化が進み、現状では主屋の屋根を本来の瓦葺から素屋根に変えることで、屋根の荷重を減らしていましたが、さらに建屋が建屋そのものの荷重によって自然崩壊してしまうことを防ぐために、食堂と和室及び仏間の梁に「支え」となる支持材の設置をしました。

②店棟の屋根底の一部に支持材を設置、それに荷重のかかる瓦材を除去（写真２）

実施期間：１月～２月

店棟の屋根底の一部に支持材を設置したうえで、それに荷重のかかる瓦材を除去し、一部銅板に変えることで、底の崩落を抑えることができました。

③土塀の漆喰の剥落や危険な瓦などの保全（写真３）

実施期間：１月～２月

土塀の漆喰の剥離や危険な瓦などを除去、部分的に底に支持材を設置し、漆喰部分に防水シートを被覆し、今後の修繕に向けて、土塀の崩壊を抑えることができました。

④劣化した道路側の木柵の撤去（写真３－３）

実施期間：１月

本通の道沿いにあった合田邸と道路を隔てていた木柵は劣化が進み、見栄えも悪く、その他の作業を妨げにもなっていたため、今回の事業によって撤去しました。この柵を取り除くことによって、現在の柵とは形の異なる柵を元々設置していたことが分かり、柵の撤去によって、記録を残し、今後の復元のために必要な情報の一つとなりました。

⑤えじぶとの間の素屋根設置・足場架構工事第１次調査及び保全工事（写真４）

実施期間：２月～Ｒ６継続事業

素屋根設置のために、足場架構を行い、記録を取りながら、屋根瓦を取り除いていく作業を実施しています。今後は一端建屋の解体まで行い、安全に活用するための復元にまでもっていきたいと考えています。

以上が令和５年度に実施した緊急保全工事の成果となります。以上の結果をもとに、合田邸を伝統的建造物群保存地区や日本遺産「北前船寄港地・船主集落」のコアスペースとして安全かつ、有効に活用していくために令和６年度以降も保全、補修、更には復元工事を進めていきたいと考えております。



(写真1)



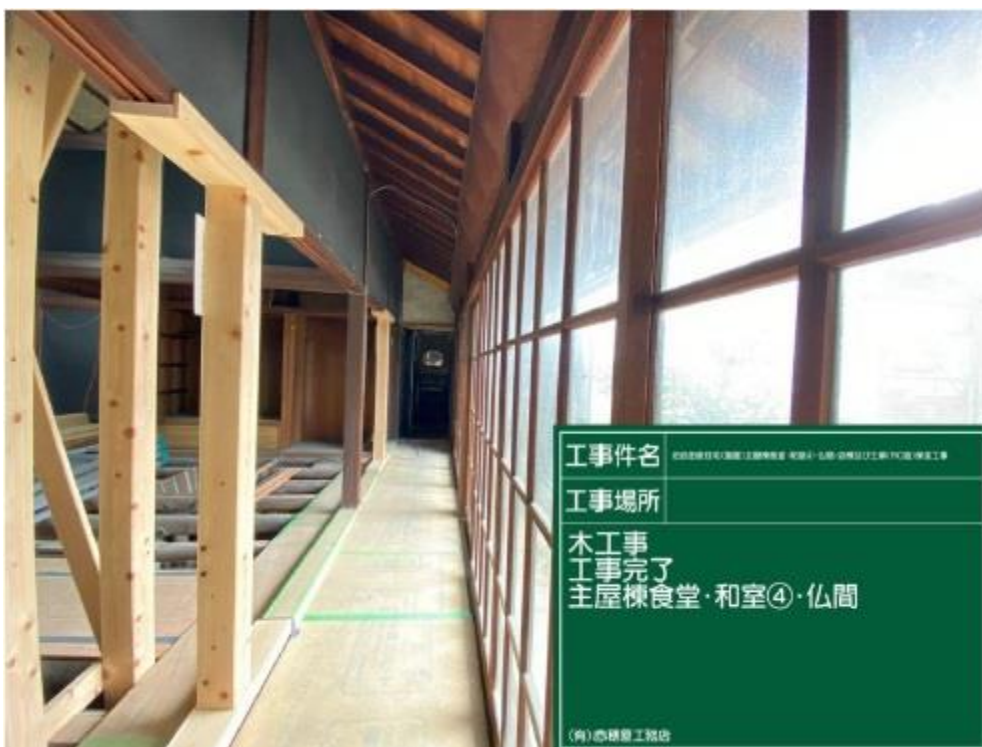
(写真1－1) 主屋食堂支持材設置状況



(写真1－2) 主屋和室・仏間支持材設置状況



（写真 1 － 3）主屋仏間支持材設置状況①



（写真 1 － 4）主屋仏間支持材設置状況②

(写真 2)



(写真 2 - 1) 店棟の屋根底部瓦除去作業



(写真 2 - 2) 店棟の屋根底部瓦除去後



(写真 2 - 3) 店棟の屋根底部支持材設置及び屋根部銅板設置作業



(写真 2 - 4) 店棟の屋根底部支持材設置及び屋根部銅板設置完了状況

(写真 3)



(写真 3 - 1) 土塀部黒漆喰除去状況



(写真 3 - 2) 土塀底部支持材設置状況



(写真 3－3) 防水シート設置状況①及び木柵撤去後（木柵撤去前：右下）



(写真 3－4) 防水シート設置状況②

(写真 4)



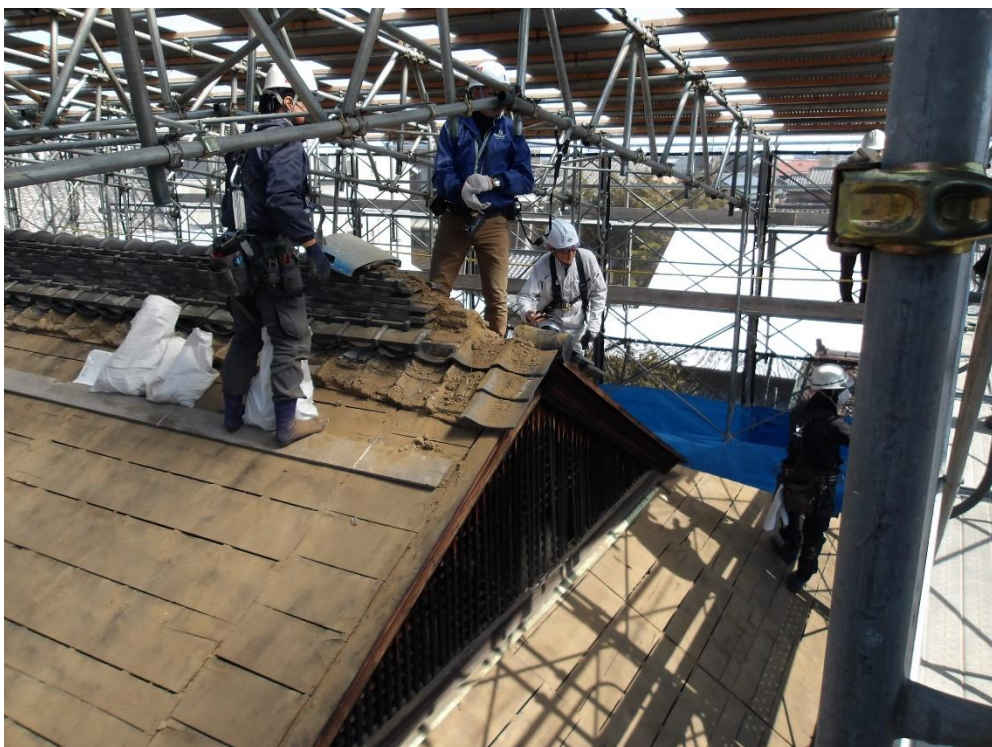
(写真 4 - 1) 足場架構工事状況



(写真 4 - 2) 足場架構完了後



(写真 4 - 3) 瓦除去作業①



(写真 4 - 4) 瓦除去作業②